

各 位

上場会社名	株式会社 カワタ
代表者	取締役社長 湯川 直人
(コード番号	6292)
問合せ先責任者	財務経理部長 白石 互
(TEL	06-6531-8211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,350	285	280	160	22.57
今回修正予想(B)	6,799	323	271	164	23.15
増減額(B-A)	449	38	△8	4	
増減率(%)	7.1	13.3	△2.9	2.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	5,949	330	331	194	27.48

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,700	570	560	320	45.13
今回修正予想(B)	13,600	570	560	320	45.14
増減額(B-A)	900	—	—	—	
増減率(%)	7.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	12,598	538	504	229	32.38

平成24年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,100	50	90	75	10.58
今回修正予想(B)	3,804	13	195	180	25.52
増減額(B-A)	△295	△36	105	105	
増減率(%)	△7.2	△72.5	117.7	141.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	3,403	17	55	49	6.91

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,200	100	180	150	21.16
今回修正予想(B)	8,200	100	300	270	38.09
増減額(B-A)	—	—	120	120	
増減率(%)	—	—	66.7	80.0	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	7,325	5	110	81	11.43

修正の理由

世界経済は欧州の債務問題の深刻化、米国経済の減速懸念、先進国の高水準の失業率等、先行きに対する不透明感が増してきております。一方、新興国においては成長ペースは鈍化してきているものの、引き続き高い経済成長率を持続しております。

連結業績につきましては、東アジア、東南アジアの受注・売上が好調に推移したこと、日本国内においても電子部品関連の需要が堅調であったこと等により、第2四半期累計期間の売上高は前回予想を449百万円上回る6,799百万円となり、営業利益も、売上高の増加に伴う売上総利益の増加等により前回予想を38百万円上回る323百万円となりました。経常利益は、為替差損や社債発行費の発生等により、前回予想を8百万円下回る271百万円となりましたが、四半期純利益は、マレーシアの生産子会社において固定資産売却益が発生したこと等により前回予想を4百万円上回る164百万円となりました。通期につきましては、東アジア、東南アジアの需要は総じて堅調ではありますが、世界経済の停滞による年度後半の減速やタイの大洪水に伴う日系企業の生産体制の混乱等も予想されることより、売上高は前回予想を900百万円上回る13,600百万円となる見込みですが、損益面におきましては、前回予想通りの、営業利益570百万円、経常利益560百万円、当期純利益320百万円を見込んでおります。

個別業績につきましては、東日本大震災や円高の影響等により、設備投資の回復ペースが当社の想定を下回り、第2四半期累計期間の売上高は前回予想を295百万円下回る3,804百万円となりました。損益面におきましては、売上高の減少に伴う売上総利益の減少等により、営業利益は前回予想を36百万円下回る13百万円となりましたが、連結子会社からの受取配当金の増加により、経常利益は前回予想を105百万円上回る195百万円、四半期純利益は前回予想を105百万円上回る180百万円となりました。通期につきましては、電子部品や自動車関連分野に加え、エネルギー関連や新規事業分野における受注の拡大、諸経費の削減を図ることにより、売上高と営業利益は、前回予想通りの売上高8,200百万円、営業利益100百万円を見込み、経常利益と当期純利益は主に第2四半期累計期間における連結子会社からの受取配当金増加により、経常利益は前回予想を120百万円上回る300百万円、当期純利益は前回予想を120百万円上回る270百万円を見込んでおります。

以上